

女性診療科に通院歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 進行・再発卵巣癌の PARP 阻害薬による維持療法中の局所再発に対する放射線療法の安全性と治療成績の検証

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・女性診療科 診療講師 久松洋司

《研究の目的》 卵巣癌の維持療法として PARP 阻害薬（ゼジューラ・リムパーザ）を服用中に、放射線療法を受けられた患者さんの治療効果と安全性を調査するため

《研究期間》 研究許可日～2022年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

卵巣癌の患者さんで PARP 阻害薬を服用中に再発があり、2020年1月1日から2021年12月31日の間に追加で放射線療法を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、病理検査、画像検査）卵巣癌に対する対象期間までの治療内容（薬物療法・手術療法・放射線療法）、合併症、併用薬剤

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 女性診療科 担当医師 診療講師 久松洋司

大阪府枚方市新町 2-3-1

TEL：072-804-0101 FAX：072-804-0131